

[国際金融都市 OSAKA 推進委員会 取組共有 (第1弾)]

ご紹介委員 : 株式会社りそな銀行

○ 金融リテラシー教育の取組み

りそなグループでは、地域貢献・社会貢献の一環として子どもたちに向けた金融経済教育を実施しています。

小学生向けに夏休みに開催している「りそな・みらいキッズマネーアカデミー」は、公的資金の注入を受けた金融グループとして「支えてくださった多くの皆さまへ恩返しをしたい」という従業員の声により、2005年に誕生しました。

営業店の若手社員が中心となり、お取引先や地域の団体等とコラボレーション企画を実施したり、銀行の仕事を劇仕立てにして伝えるなど、各会場ごとに工夫を凝らして、子どもたちにお金の役割や働くことの大切さなどを楽しく教えます。授業で使用する教材やゲームも従業員が考案したものです。

参加した子どもたちからは「お金を大切に使おうと思いました」や「お父さんとお母さんに感謝しないといけないと思いました」などの声があり、保護者の方からも「お金のことは伝えるのが難しいので、楽しく教えてもらえて良かったです。」との声を多くいただいております。

たくさんの方のご協力により、現在では毎年約4,000名の子どもたちが参加し、卒業生は累計4万名を超えるイベントとなりました。

中学生向けには、銀行内部の見学や店頭での挨拶体験等を行う職場体験や、出張授業「ティーンズマネーアカデミー」を2018年から行っています。

「ティーンズマネーアカデミー」では、従業員が講師となり、オリジナルのプログラムで銀行員ならではの授業を実施しています。社会で自立して生きる力を身に付けてもらうことを目的に、お金との上手な付き合い方や実社会に即した金融経済の仕組みを、スライドや対話・ワークを通じて伝えています。社会環境や金融行動の変化にともない、お金の役割や大切さ、重要性を学ぶ意義は増大しております。

今後もしもりそなグループでは、地域と連携しながら実践的な金融経済教育のプログラムを世代毎に提供する活動を継続していきます。

○ ご参考 (リンク先) : <https://www.resona-gr.co.jp/academy/>

[キッズマネーアカデミー風景]



[ティーンズマネーアカデミー風景]

